

KODAIRA INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION NEWS



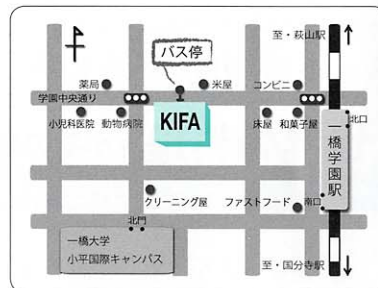
URL <http://www.kifa-tokyo.jp/> E-mail info@kifa-tokyo.jp

2012

No.66

CONTENTS

- P.1：ひな祭りの集い
- P.2：世界の料理～糧うどん、市民駅伝大会参加ボランティアインタビュー、KIFA 写真館
- P.3：インタビュー“中国 内モンゴル自治区”外国人のためのいけ花入門講座
- P.4：震災復興支援チャリティアート販売会
これからの行事予定、避難場所地図の発行、facebook 開設、平成 24 年度予算



ひな祭りの集い

3月3日(土)

春の日差しの中、ひな祭りが盛大に行われました。集いの前に、JICAの研修生17名にお抹茶のおもてなし。お茶室には民族衣装の外国人があふれんばかり。正座の苦手な外国人たちにはちょっとした苦行？それでも上手にお茶を点てたりして、日本の伝統文化を楽しんでいました。

さて、本番のひな祭りは安部理事長の開会の挨拶でスタートです。ちょっと前は少女だった外国人女性の艶やかな振袖姿に、お雛様も赤ら顔。参加者は100人以上いたでしょうか、子供に戻って歌ったり踊ったり、それはそれは賑やかな楽しい一日でした。

折り紙ボランティアのみなさん

KIFAボランティアインタビュー(シリーズ第2回)

3月3日のひな祭り会場で折り紙ボランティアの塩川輝子さん、西野谷敬子さんにお話を伺いました。折り紙ボランティアは国際交流フェスティバル、ひな祭りの際に子供たちや海外の方に折り紙を教えています。当日はカラフルな折り紙や作品に誘われて30～40人ほどに折り紙を教えるそうです。作品はコマや手裏剣が人気だそうですよ。会場の一角を華やかにしてくれる折り紙の数々。折り紙を使って「小さな外交が

出来て、自分達も楽しいの」とおっしゃるボランティアさん、これからもがんばってください!



左から 西野谷さん、塩川さん、初参加の植田さん

世界の料理～小平の郷土料理（^{かて}糎うどん）

2月23日(木)

講師は、前号のボランティアインタビューにご登場いただいた江連紀子さんです。受講者は男性5名を含む25名、うどんを打つのは初めての方がほとんど。江連さんのご指導を仰ぎながら、狭山産地粉の生地を丸めるところからスタート!かなり本格的です。足踏み、生地を薄くのばすといった一連の作業も『見る』と『やる』のでは大違い!皆さん汗をかきながら悪戦苦闘!苦勞の甲斐あって出来あがったうどんは、ピカピカ黄色い。

うどんといえば讃岐うどんが有名ですが、糎うどんとの一番の違いは『粉』。喉ごし重視の讃岐は糎うどんほど粉にこだわらないそう。確かに糎うどんって「味わって食べる」うどんですね。噛めば噛むほど甘い味がして、急いで食べては勿体ない!

小平は昔から正月やお盆など集まりの席ではうどんを打ってふるまう習慣がありました。また、うどんを上手に作れないとお嫁に行けないとも言われていたとか。満腹になったお腹をさすりながら「ああ、よかった21世紀で…」と思いつつ取材を終えました。



パスタノ国カラ来テマス。ウドン作りハオ手ノモノ。

小平市民駅伝大会

2月5日(日)

立春が過ぎたとはいえまだまだ寒い中、われらがKIFAからは男子1チームが参加しました。

4人1組で3キロずつ走るこの大会。トップランナーは中国(新疆ウイグル自治区)のニアズさん。2番目はブータンのツェワンさん。3番目は日本の石井さん。アンカーは中国(青島)の張さんです。KIFAの建物の前では上から下まで厚着をした美女(笑)応援団が出場選手の国旗を持ってスタンバイ!それぞれどんな走りを見せてくれるのか楽しみです。

KIFAのシンボル、グリーンのTシャツが遠くにみえると私達応援団は一生懸命に旗を振りました。



ニアズさん

ツェワンさん

石井さん

張さん

皆イキイキと素敵な笑顔で走っていました。格好良かったですよ!

その後、へとへとになった走者たちと応援で冷えきった私達は温かいラーメンを食べにいき、ひと息つきました。今年は1チームでしたが、来年はもっと増えると良いですね!!(^w^)

～KIFA 写真館～



箱根バスツアー
11月27日

世界の料理
中国薬膳料理
12月15日

都内バスツアー
2月19日

こだいら国際交流芸術展
12月6日～11日
ルネこだいら

餅つき交流
パーティー
1月14日



インタビュー “中華人民共和国・^{うち}内モンゴル自治区”

中国“内モンゴル自治区”出身で東京学芸大学在学中の宝蘭(バオラン)さんにインタビューしました。

●宝蘭さんはどうして日本に留学することにしたのですか？

私の出身地は内モンゴル自治区東部にある庫倫(フレー)市という所です。親戚のお兄さんが日本にいたので来てみました。今は大学院で中国近現代史を勉強しながら出身地の地域史について研究しています。

●内モンゴルと中国は異文化？！

そうです。言葉も違うし、漢民族のような苗字もないです。私の地元では「モンゴル語」をしゃべります。文法は日本語と似ています。進路のために「漢語」(中国標準語)を小学校の頃から、皆さんが英語を覚えるように勉強しました。「宝蘭」



1915年にモンゴル・ロシア・中国との間で交わされた「キャフタ条約」により南の「中国・内モンゴル自治区」と北の「モンゴル国」となった。

●内モンゴルの特徴を紹介してもらえますか？

四季はわかりやすい！冬はとにかく長いです(笑)。10月

～3月はほぼ暖房がつけばなしで、真冬の気温は大体マイナス20度～30度です。西部と東部の発展に非常に差があります。西に草原が多いのに対し、東では都市化が進んできました。西にすんでいるおじさんの家に行くのにあれこれ乗り継いで20時間もかかります。何もないただの草原ですが、美しいところですよ。でも、遊牧をやめて現代の生活を始めた人も増えています。移動もバイクや車に変わりました。昔は木の馬車を使ってましたよ。



●内モンゴルでは何を食べますか？

寒いところなので、身体が温まる牛や羊の肉をよく食べます。内モンゴルでは自宅で牛を飼う人も多く、搾り立てのお乳が飲めます。中国では内モンゴルの乳製品が有名で、牛乳、チーズ、ミルクティー、ヨーグルトは日常生活でよく口にします。米ができないから、お米は別の産地から購入しています。それまでは現地特有の「炒米」(チャオミー)を食べていました。

●最後に日本についての感想を聞かせてください。

学生がアルバイトをするのがすごいと思いました！それにとにかく人が親切ですね。驚いたのは、街でゴミ箱が少ないことと、どこのトイレにもトイレトーパーがちゃんとついていることです。販売されている野菜もキレイで、調理が楽です。成人式もいいなと思いました。中国にはないです。

アルバイトをしながら大学で研究に励む宝蘭さん、これからもがんばってください。

外国人のためのいけばな入門

11月12日～12月10日(全5回)

最終回の教室を訪ねてみました。受講生は中国・韓国・イタリア・ハンガリー出身の女性10名。今回のテーマは『クリスマスの花』そして花材は、萩の白塗り、ヒイラギ、カーネーション、ドラセナレインボー、モールです。

花材について説明を受けた後、先生方手作りの花器が配られ、いよいよ生け花の実習が始まりました。既に5回目となり受講生の皆さんはハサミの使い方も手慣れたものです。一本の花を生けるのにも何度も全体のバランスを眺めながら真剣に取り組んでいました。花材の高低や横への広がりなど、指導を受けながらようやく完成しました。自由で個性的な作品はお見事でした。クリスマスも近い時期、受講生の皆さんは花材を自宅に持ち帰り、再現するのが楽しみの様子でした。

みなさんにお話を聞いたところ「元々花が好きで、いけばなは自然に近いので以前から興味を持っていた。」「いけばなは花と自分との対話であると感じた。」「今まで鑑賞するだけで実際に生ける機会がなかったが、実習出来て楽しかった。」など

の感想がありました。日本の伝統文化のいけばなに触れることが出来、大変満足されていた様子が記念撮影の表情にありありと伺うことが出来ました。



震災復興支援チャリティアート販売会

12月21日～23日、ルネこだいら

KIFAで毎年開催している「こだいら国際交流芸術展」。いつも作品を出展している朱海慶さん、楊秀賢さん、陳蘭琦さんから、東日本震災復興支援のチャリティ販売の提案がありました。そこで芸術展の後、「震災復興支援チャリティアート販売会」を開催しました。中国、ロシア、イギリス、ドイツの4カ国、8名の水墨画や絵画、写真などを展示販売しました。23日には出品者の陳さんにその場で水墨画を描くなどしていただきました。多くの方のご厚意により、18万1千円の収益を上げることが出来ました。

このお金は朱さん、楊さんと共に小平市社会福祉協議会へお渡ししました。今後赤い羽根共同募金として被災地へ送られます。ご協力くださった皆様、ありがとうございます。



「小平市の避難場所」冊子が出来ました

日本語、中国語、韓国語、英語の4言語による「小平市の避難場所」冊子が出来ました。避難場所の地図に加え、避難の経路と地震のときの行動も載っています。これはKIFA「情報提供コーナー」ボランティアが作成したもので、KIFA事務局および小平市役所の市民課外国人登録窓口と防災対策室で入手できます。

もしもの時にあわてないためにも、この冊子でご自宅近くの避難場所をぜひ一度ご確認ください。

平成24年度は 次のような事業を行います

I. 国際理解及び国際親善の普及事業

国際子どもクラブ(2期2クラス)、日本語会話教室、英会話教室(レベル別クラス、シニア英会話)、外国語会話教室、国際交流芸術展

II. 地域における友好交流事業

国際交流フェスティバル、餅つき交流パーティ、ホームビジット、バスハイク、市民スポーツまつり参加、市民駅伝大会参加、ひな祭り等

III. 地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業

世界の料理紹介、世界の文化紹介(台湾茶、篆刻)、外国人のための茶道入門

IV. 国際交流情報の収集及び地域への提供事業

機関紙(年3回)・情報紙(年12回)の発行、情報提供コーナーの運営、学生スタンプラリー、電子情報の発信、ホームページ更新

V. その他協会目的達成事業

ボランティア活動の推進(ボランティア連絡会の開催、登録時研修会、ボランティアの組織化)、市民まつりパレード参加、新年交流会、協会のあり方検討会の設置

編集後記

こんにちは! KIFAにボランティアデビューし、初めて記事を書かせてもらいました。人の記事を見て、こうすればいいのになんて思ったのが、いざ自分で書くとなると、難しい! 書けないものですね。先輩に助けられ、何とか仕上がりました。どうぞ最後まで読んでくださいね。(H.F)



これからの行事予定

- ◎外国人登録制度変更説明会 4月15日(日) 13:30～15:30
東部市民センター
4月22日(日) 13:30～15:30
西部市民センター
4月28日(土) 13:30～15:30
中央公民館
- ◎学生スタンプラリー 4月末
- ◎国際子どもクラブ(前期) 5月12日～7月21日 土曜日
(10回) 英会話など
- ◎講演会「やさしい日本語」 5月
- ◎台湾茶入門講座茶会 6月
- ◎世界の料理第1回 6月
- ◎国際交流フェスティバル 7月15日(日)
福祉会館・市民ひろば
- ◎外国人のための防災訓練 8月

KIFAのfacebook公式ページが出来ました

ページ名は「Kifa-小平市国際交流協会」です。facebookを使っていない方でもご覧になれます。

<http://tiny.cc/kifa-fl>

GoogleやYahooのような検索サイトでも「KIFA facebook」で検索できます。



平成24年度収支予算 (平成24年4月1日～平成25年3月31日まで)

○収入の部

(単位:千円)

科目	予算額
賛助会費収入	1,467
補助金収入(市補助金)	13,799
寄附金収入	1
積立金繰入	2,158
事業収入	7,728
雑収入(預金利息等)	5
前年度繰越金	100
収入合計	25,258

○支出の部

(単位:千円)

科目	予算額
事業費	11,009
国際理解及び国際親善の普及事業	5,899
地域における友好交流事業	1,248
地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業	470
国際交流情報の収集及び地域への提供事業	2,535
その他協会目的達成事業	857
管理費(管理運営費)	14,048
積立金	1
予備費	200
支出合計	25,258

発行日 平成24年4月1日
発行 小平市国際交流協会
編集 機関紙グループ

〒187-0045
小平市学園西町2-12-22 学園西町地域センター3階
TEL. 042-342-4488 FAX. 042-347-3003